

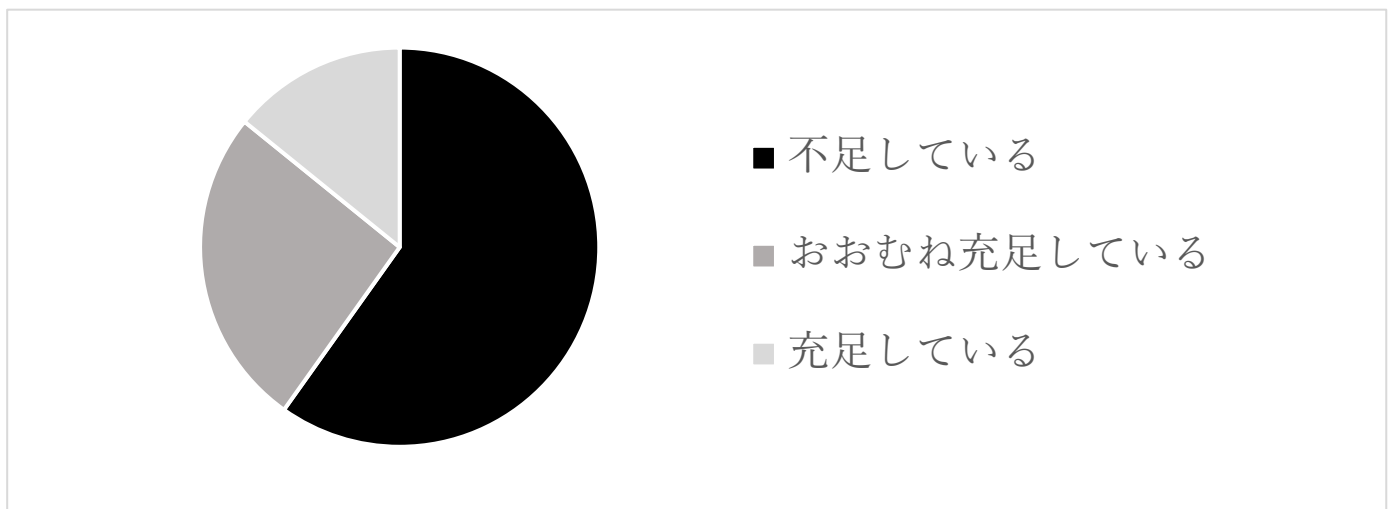
## 「インフルエンザワクチン供給状況の緊急調査」の結果報告

インフルエンザワクチン不足の調査について、会員の皆様にアンケートをお願いしたところ、1週間で254名の方からご回答いただきました。ありがとうございました。結果についてご報告します。

### Q1 インフルエンザワクチンを接種されていますか？

254名中253名 99.6%の方が接種されていました。接種していないとお答えになった1名の方も、「本数は不足している」とされていますので、実は100%の方が接種されているものと思われます。ただし、こういうアンケートの特性として、接種されていない方はアンケートに参加されていない可能性があると考えておかなければなりません。

### Q2 貴院でのインフルエンザワクチンの11月28日（回答日）での充足状況をお答えください。



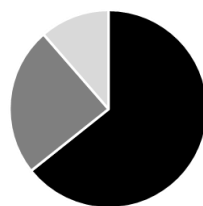
不足している（予定供給本数<接種希望者）59.8%  
おおむね充足（予定供給本数≒接種希望者）26.0%  
充足している（予定供給本数>接種希望者）14.2%  
この結果を地域別にみると差が大きいようです



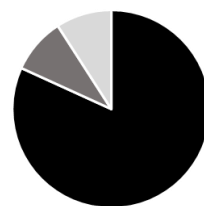
北海道・東北



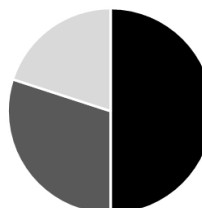
北関東



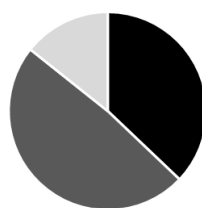
首都圏



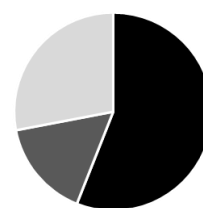
甲信越・北陸



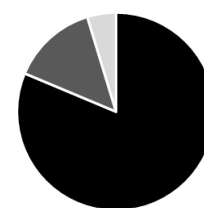
東海・三重



近畿



中国・四国

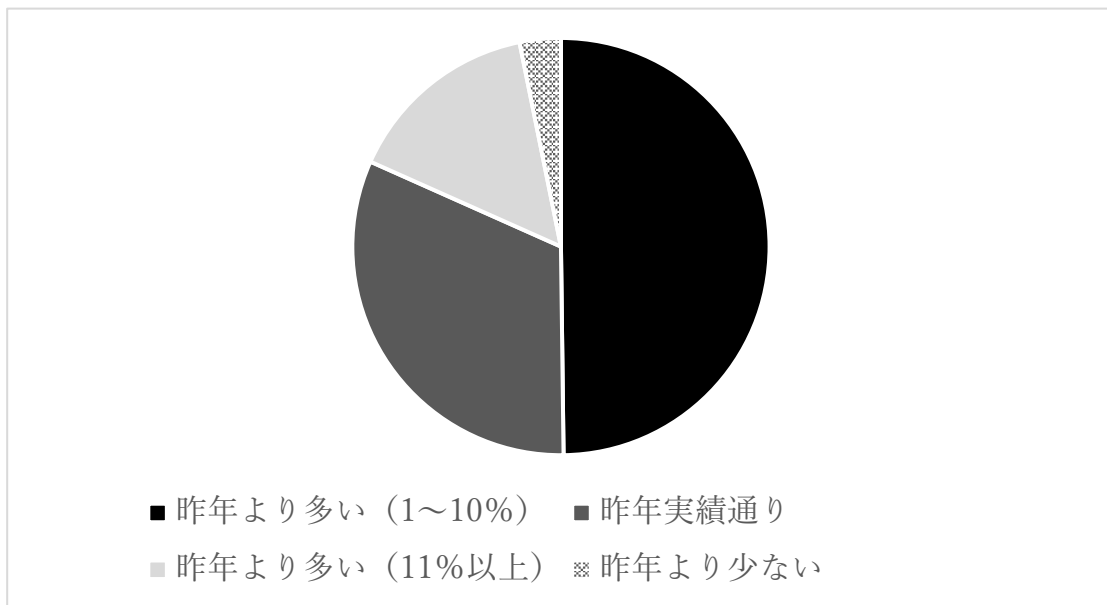


九州・沖縄

不足が目立つのは 甲信越・北陸、それと九州・沖縄地区です。80%以上の施設で不足していると報告がありました。県別では福岡で 17 か所中 16 か所が不足と突出しています。一方近畿圏は不足しているが 37%と最も少なく、大阪では 13 か所中 9 か所で、おおむね充足、充足でした。中国・四国地域でも 28%の施設が「充足している」と報告しています。

いつも問題となる 偏在が明らかになっている結果だと思われます。

### Q3 予定本数は昨年と比べて



昨年より多い (1~10%増し)	49.8%	昨年より多い (11%以上)	15.1%
昨年と同じ	31.9%	昨年より少ない	3.2%

多くの施設で本数は確保されており、供給量は増えています。国の公表されている増加分は届いている印象があります。

### Q4 ワクチン不足のため今年から接種方法の変更を行いましたか？

特に変更していない 69.7%      変更した 30.3%

### Q5 供給不足のためにどのような対策を行っていますか？（複数回答可）

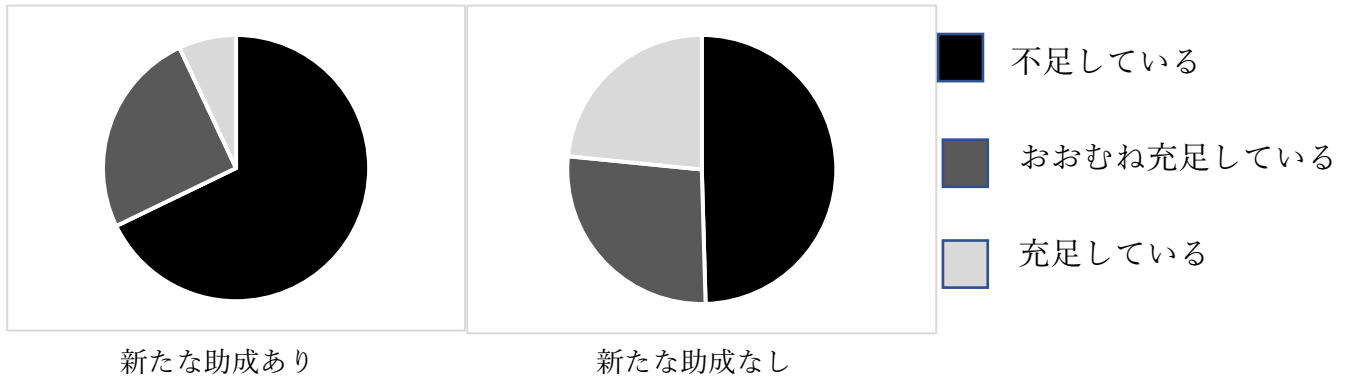
- ・予約患者以外の接種をしない（例 診察時間内の飛び込み接種を中止 など） 42 施設
- ・13歳未満児での接種回数を小児科医会の考え方のように WHO 方式（9歳以上は1回、生後6か月から8歳では前年度接種者は1回 未接種者は4週間隔で2回）またはこれに準じて接種回数を減らした。 42 施設
- ・接種年齢の制限（例 成人の接種を取りやめた など） 21 施設
- ・自院かかりつけ患者以外には接種しない 20 施設
- ・接種回数の遵守（13歳以上での2回接種を取りやめ） 20 施設
- ・WHO方式よりもさらに接種回数を減らした（例 3歳以上は全員1回 など） 5 施設

その他としては 接種期間の限定 接種日の限定（コロナ対策を兼ねて密を避けるため） 予約制を取りやめて、来院順に接種し、なくなれば終了。などが挙げられています。

Q6 貴院の診療圏の自治体では、今年から新たにインフルエンザワクチンの助成制度ができたり、拡充されたりしましたか？

あり 56.3% なし 43.7%

半分以上の自治体が、新たな助成制度を設けたようです。

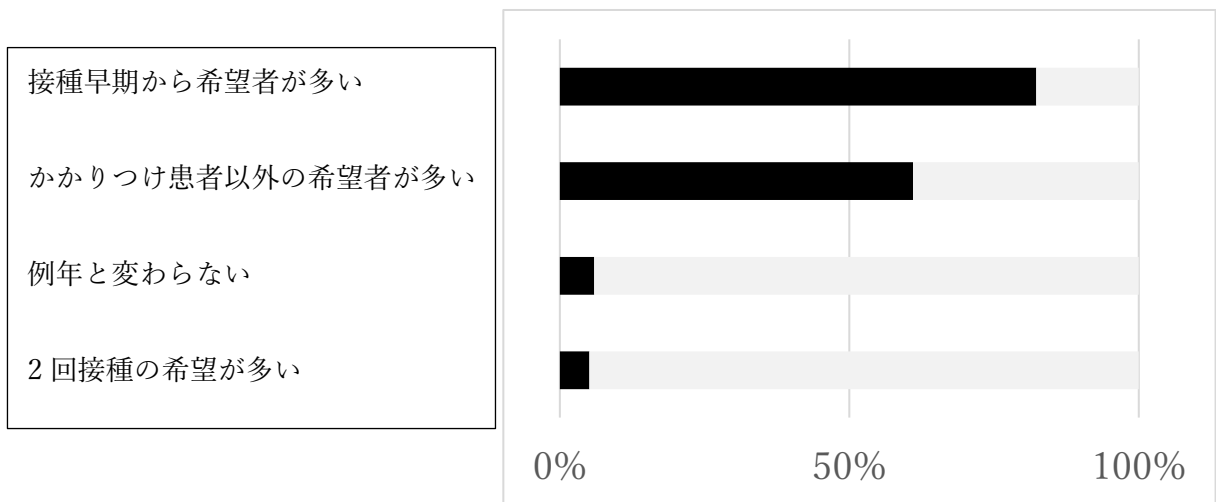


新規の接種助成があるところでは 67.8%の施設が不足していると答え 新規の助成制度がなかったところは 49.5%で不足していました。 助成制度の新設がワクチン不足を助長したといえます。

Q7 今年から新たにはじまった助成制度を教えてください（複数回答可）

小児への接種に対して、新たな助成制度が始まった	96 施設
成人への接種に対して、新たな助成制度が始まった	85 施設
高齢者接種に対する制度が拡充された	27 施設

Q8 例年と比べて、今年のインフルエンザワクチン接種希望者の変化はありますか？（複数回答可）



国が高齢者からの接種を10月初めからとしたことで、子どもへの接種も早くなったようです。

早くからたくさんの回答をいただきありがとうございました。学会の HP で公表するとともに、この一部は、今年 12 月 20 日の日本ワクチン学会でも、発表したいと存じます。

2020 年 12 月 12 日

日本外来小児科学会 予防接種委員会  
分析 委員会委員長 中村豊